

# 河内川ダム建設の無駄と無謀 その④④

## ひそかに設計変更された河内川ダム 「多目的ダムから洪水調節専用ダムへ」

（小浜市）松本 浩

福井県は国と謀り河内川ダム事業で多額の交付金詐取を計画し且つ実行した。  
試験湛水は施行されておらず、「多目的ダム竣工」とは民を欺く詐欺である。

平成 16 年 7 月 25 日、小浜市長選挙。同市田鳥地区への使用済み核燃料「中間」貯蔵施設誘致を巡って激しく争われたが、誘致反対を鮮明に掲げた村上候補が関西電力子会社の社員である杓子候補を破って当選した。

当選 村上利夫（72 才） 11,806 票  
杓子 明（58 才） 8,163 票

なお、市長選挙と同時に行われた市議会議員補欠選挙では、選挙広報で「使用済み核燃料の中間貯蔵施設の誘致に断固反対する」と明記した西本候補が、同施設誘致問題に沈黙を守った板谷候補に圧勝した。

当選 西本正俊（46 才） 12,420 票  
板谷清隆（54 才） 6,857 票

平成 17 年度 (2005)	: ダムサイト地質調査	0
	: ダム本体工事費予算	173 億 3,700 万円
	この年の 4 月 22 日契約「第四紀断層補足調査委託」	7,858,200 円により「ダムサイトの岩盤に想定外に大きな亀裂が発見されました」と、ダム事務所の関係者が証言している。
平成 18 年度 (2006)	: ダムサイト地質調査	0
	: ダム本体工事費予算	173 億 3,700 万円
	全体計画検討業務委託	8,827,763 円 (株)ニュージェック
平成 19 年度 (2007)	: ダムサイト地質調査	0
	: ダム本体工事費予算	173 億 3,700 万円
	全体計画資料作成業務	15,306,236 円 (株)ニュージェック
	全体計画書作成業務	15,960,000 円 (株)ニュージェック
	全体計画資料作成 2	7,927,500 円 (株)ニュージェック
平成 20 年度 (2008)	: 基本設計会議資料作成一式	2,500 万円
	: ダム本体工事費予算	173 億 3,700 万円
	工事基本方針検討 2	3,517,500 円 (株)ニュージェック
	全体計画資料作成 3	13,056,750 円 (株)ニュージェック
	ダム全体設計業務 1	7,683,900 円 (株)ニュージェック
	ダム全体設計業務 2	18,226,950 円 (株)ニュージェック
	本体施工計画実施設計	40,110,000 円 八千代エンジニアリング(株)
	本体施工設備実施設計	22,365,000 円 八千代エンジニアリング(株)

※平成 21 年 1 月 19 日 ダム全体計画変更申請（西川一誠知事）

※ 〃 6 月 2 日 ダム全体計画変更認可（国交省近畿地方整備局）

（注）※本件「全体計画変更」について、福井県河川課およびダム建設事務所と筆者（松本）との間で次のような対話が交わされている。

●平成 29 年(2017) 8 月 31 日 河内川ダム建設事務所にて  
本庁河川課ダム建設グループ 米田主任 坂本主事  
河川監理グループ 北山主任 嶋田主事

松本：平成 20 年から 21 年にかけて福井県は二つの大きな難題に直面していましたね。

米田：…どういうことでしょうか。

松本：一つはダムサイト岩盤の「想定外に大きな亀裂」、つまり、鍾乳洞の存在、これをどうするかという課題…" もう一つは、「コンクリートから人へ」のスローガンを掲げた民主党が平成 21 年 8 月の総選挙で自民党を破って政権についたことです。

米田：…

松本：あなた方は、一つ目の課題については、河内川ダムを水を貯めないダムに、…多目的ダムから洪水調節専用ダム、流水ダムに設計変更することで切り抜けようとした…

米田：…

松本：平成 21 年 1 月に福井県は「ダム全体計画変更」を国に申請し、同年 6 月に国土交通省はこれを認可しました。この全体計画変更というのが洪水調節専用ダムへの設計変更だったのではありませんか。

米田：…

松本：そして、この設計変更後も福井県は国に対しては、多目的ダムを内容とした補助金申請をして、毎年多額の国庫補助金の交付を受け続けてきましたね。

米田：…

松本：あらかじめ流水型ダムを設計しておきながら、国に対しては多目的ダムの補助金申請を申請して来たとする、これは、福井県のこの行為は、詐欺に該当しませんか。

米田：…（この時、米田主任は文字通り顔面蒼白となっていた）

●平成 30 年(2018) 3 月 12 日 河内川ダム建設事務所にて  
田中次長、下西工務課長、高木主事、中塚主査

松本：福井県が平成 21 年 1 月 19 日に申請して、国交省近畿整備局長が同年 6 月 2 日に認可している河内川ダム全体計画変更ですが、開示文書を見ますと、主な変更は 3 点ですね。

第一の変更は、事業費を 234 億円から 415 億円に増額するというものです。

しかし、この変更は既に平成 14 年 3 月に認可済みの変更です。国への補助金交付申請も、平成 14 年度以来今日まで事業費は毎年 415 億円ですよ。

田中：…

松本：第二の変更は、ダムの完成期限を平成 14 年 3 月から平成 30 年 3 月まで延期するというものです。

これも、平成 14 年 3 月に、平成 24 年 3 月まで既に延期済のもので、事実とは異なっています。

田中：…

松本：…第三の変更は、ダムの建設地を上中町から若狭町に変更するというものですが、これは、建設地の変更ではなくて「平成の合併」による町名変更です。

田中：…

松本：この時期に、何故こんなものが「全体計画の変更」なんですか。

田中：国への申請関係の文書については、本庁の河川課のことで・・・松本さんのおっしゃったことは、本庁に伝えます。

松本：平成6年2月18日認可の当初全体計画では、福井県知事栗田幸雄が申請して、建設大臣五十嵐広三が認可しています。

ともに公印が押してありますが、本件変更申請は、申請先は国土交通省近畿地方整備局長となっていて、申請者である福井県知事西川一誠の公印がない・・・

田中：・・・

松本：平成6年の全体計画認可には、「湛水を開始するときは、あらかじめ建設省河川局長の承認を受けること」という認可条件が付いていたのに、21年6月の変更認可にはその条件がない。

これはどうしてですか。

田中：・・・

松本：本件、開示された「ダム全体計画変更」に係る福井県の申請書と国土交通省の認可書は、別の文書とすり替えられているのではありませんか。

田中：・・・松本さんは、すり替えられたとしたら、もとの中身は何だったと思われませんか。

松本：「全体計画の変更」というからには、町名の変更や事業費の変更、完成時期の変更ではあり得ないでしょう。

それは、ダムの目的や機能など基本性格に係わるものでしょう。

変更の本当の中身は、多目的ダムから洪水調節専用ダムへの転換だと思います。

田中：・・・・（深い沈黙が返って来た）

平成21年度(2009)	: 施工計画検討一式	5,200万円
	: ダム本体工事費予算	178億3,700万円
設計業務委託1	5,460,000円	(財)ダム技術センター (ダム本体実施設計・施工計画評価)
設計業務委託2	13,650,000円	(財)ダム技術センター (ダム本体耐震性能照査検討)
設計業務委託5	33,114,900円	(株)ニュージェック (構造物設計・コスト縮減検討)
設計業務委託6	26,374,950円	八千代エンジニアリング(株) (ダム本体積算資料作成)

平成21年8月30日 総選挙で民主党が自民党を破って勝利、政権党となる。

” 12月3日 第1回「有識者会議」

「ダムは、河川を横過してもっぱら流水を貯留する目的で築造された構造物である。ただし、洪水調節専用目的の場合、いわゆる流水型ダムとして、通常時は流水を貯留しない型式とする例がある」(第1回今後の治水対策のあり方に関する有識者会議資料より)

平成22年度(2010)	: 設計、検討、試験	2,000万円
	: ダム本体工事費予算	178億3,700万円

(次号に続く)